

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 指宿市実行委員会 第3回総務・広報専門委員会 議事録		日 時	平成30年11月28日（水） 16時～17時30分
		場 所	指宿市役所 指宿庁舎 大会議室A
議 事	○ 審議事項 (1) 常任委員会からの委任事項 ア 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」指宿市ポロシャツ製作（案） (2) 常任委員会からの付託事項 ア 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」指宿市市民運動プログラム（取組の手引）（案） イ 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」指宿市広報計画（案） (3) その他		
出席者（13名）	委員長，副委員長，委員7名，事務局4名		
欠席者（2名）	委員2名		
1 開 会 2 委員長あいさつ 3 新委員の紹介 4 報告事項 (1) 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」指宿市アロハシャツ製作 <意見なし> 5 報告事項 (1) 常任委員会からの委任事項 ア 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」指宿市ポロシャツ製作（案） 〔委 員〕 業務目的の中で，ポロシャツを製作して広報と気運の醸成を図ることとあるが，昨年アロハシャツも製作したことから，市民へのポロシャツでの広報と気運の醸成は図らなくてもいいのではないかと考えている。 〔事務局〕 大きな目的としては，昨年製作したアロハシャツは2020年の両大会での競技場外の受付やおもてなしなどのボランティアの服飾として活用したいと考えている。また，今回製作するポロシャツについては，2020年の両大会の競技場内の競技役員等の服飾として活用したいと考えている。そのことから，それまでの期間はアロハシャツとポロシャツにおいて，市民等への広報と気運の醸成を図りたいと考えている。 〔委 員〕 競技役員等の服飾であれば，今回の提案である指宿市実施競技の4競技のデザインではなく，本来競技役員が携わる競技ごとに製作したほうがいいのではないかと考えている。			

- [事務局] 今回の提案としては、デザインに本市の実施競技と本市のPRも兼ねて製作し、まずは両大会の広報と気運の醸成を図る。
今後、両大会での競技役員等の活用の際には、各県協会等との協議の上、実施競技の識別も含め検討したいと考えている。
- [委員長] まずは全体的な広報及び気運の醸成を図ることを目的として、2020年の両大会での競技役員等が活用する際は、競技ごとに識別できるような活用を県協会等と協議を進めるとの提案である。
- [委員] 本市でもかごしま国体のポロシャツを見かけるが、それとの関係はどうか。
- [事務局] 現在、県体育協会や民間企業等で製作しており、本市独自の両大会ポロシャツがなかったため、今回製作する提案をさせてもらった。
- [委員] それでは、県体育協会や民間企業等のポロシャツとデザインが被らないような形にしたほうがよい。
- [委員長] 県体育協会等のポロシャツと被らないようにするためには、今回の選定の際に既存のポロシャツを持ってきてもらいたい。
- [事務局] 県体育協会等のポロシャツは、資料7ページの左上※1のデザイン等を基本に製作され、かごしま国体のみに特化しており、実施競技等についてはデザインされていない。
本市としては、実施競技等をメインに押し出して、市民の方々に着ていただき認識していただくとともに、両大会に多くの方々が携わっていただきたいと考えている。
- [委員] このポロシャツは300枚しか製作しないのか。
- [事務局] 今年度は300枚の製作を考えているが、2020年の両大会には各競技役員等の枚数を把握し、今回のデザインを基に製作したいと考えている。
- [委員] 製作した際は市民等に販売しないのか。
- [事務局] 現在、事務局でも協議中であるが、競技役員等の服飾と考えているため、通常の観客と識別できるようにすることも含め、検討している。
- [委員長] 今回は市民への広報と気運の醸成を図ることを主眼に置き、選定していく。
- [委員] 前回、アロハシャツを製作し、ロゴデザイン等が小さいなどの意見があったが、どのような反応があったのか。そこを踏まえて、今後製作したほうがいいのではないか。
- [事務局] 着心地については非常に評判がいい。
デザインについては、アロハの絵柄が小さいなどという意見や、若年層には受けがあまりよくないとの意見もある。
両大会のロゴについてはロゴデザインが小さいため、両大会終了後も着用できるなどの意見もいただいているが、裏を返せば、広報になっていないとも受け取れる。
- [委員] 前回のアロハシャツ製作を踏まえ、業務目的を追加するか、説明を加えれば、よりよい提案があるのではないかと。
- [委員長] 今回は市民への広報と気運の醸成を図ることを主眼に置き、目立つようなデザインにしてもいいのではないかと個人的には思っている。

[委員] ポロシャツはアロハシャツと金額も違い、無償であれば広報をメインにしてもいいのではないかと。
また、競技によつての識別化は競技会場も競技会期も違うため、しなくていいのではないかと思う。

[委員長] 様々な意見もあり、皆様の意見を取り入れるためには、資料14ページの評価項目及び評価基準になってくると思う。

[委員] 広報や気運の醸成に力をいれるのであれば、業務の理解度の配点が低い気がする。

[事務局] 前回のアロハシャツ製作の配点と比較すると、広報に力を入れたことから、継続性を省いたところである。

[委員長] 配点についてどう思うか。

[委員] 機能性であるが、アロハシャツと違いポロシャツは着心地等差異はないと思う。配点が高いのではないかと。

[事務局] ポロシャツの素材（綿、ポリ）のバラつき等あるのではと思います、前回と比べ機能性の配点を加算したところである。

[委員長] 機能性やデザインも重要であるが、業務の理解度への配点が低いように思う。業務の理解度とは、PR力と捉えてよいか。

[事務局] よい。
また、本大会服飾用として使用できるか等である。

[委員長] スケジュールとデザインの配点を下げ、業務の理解度への配点を増やすこととしたいがどうか。

[委員] 異論なし。

・その他意見なし

<評価基準配点を修正することでその他原案とおりに決定>

(2) 常任委員会からの付託事項

ア 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」指宿市市民運動プログラム
(取組の手引) (案)

[委員長] 内容も多様で、本会で審議を終了することは難しいと思うが、市民総出で大会を盛り上げ、全国からの来訪者へ対するおもてなし等、指宿を知ってもらうためのプログラムにしなくてはならない。

[委員] 会期にあたる時期は各自治会や学校等での行事が多数開催される時期である。調整等はどのように進めていくのか。

[事務局] 学校等の県全体に関係することは、国体優先として県が調整を進めていくということである。
市では市内推進会議という行政の実施本部に各関係部等に入ってもらい、その中で役割分担を行い、それぞれが所管する組織等への情報発信を依頼していきたい。

[委員] 今後、どのような製作物があるのか。

[事務局] 予算次第ではあるが、来年度はリハーサル大会の記念品や啓発グッズ等の製作を予定している。また、そのデザイン等は事務局でと考えている。

[委員長] 持ち帰って目を通し、意見・質問等ある場合は事務局へ連絡をすること。

イ 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」指宿市広報計画（案）

・意見なし

＜原案どおり決定＞

(3) その他

[委員] 市民運動プログラムへの意見・質問等の期限はいつか。

[事務局] 常任委員会を2月頃と考えているため、年内中とさせていただきたい。

[事務局] ポロシャツ製作に係るプレゼンテーション・ヒアリング日時を調整していただきたい。

・委員調整

[委員長] 平成31年1月29日（火）16時からとする。
今後会議室等の調整を行い、委員の方々には再度通知する。

6 閉会